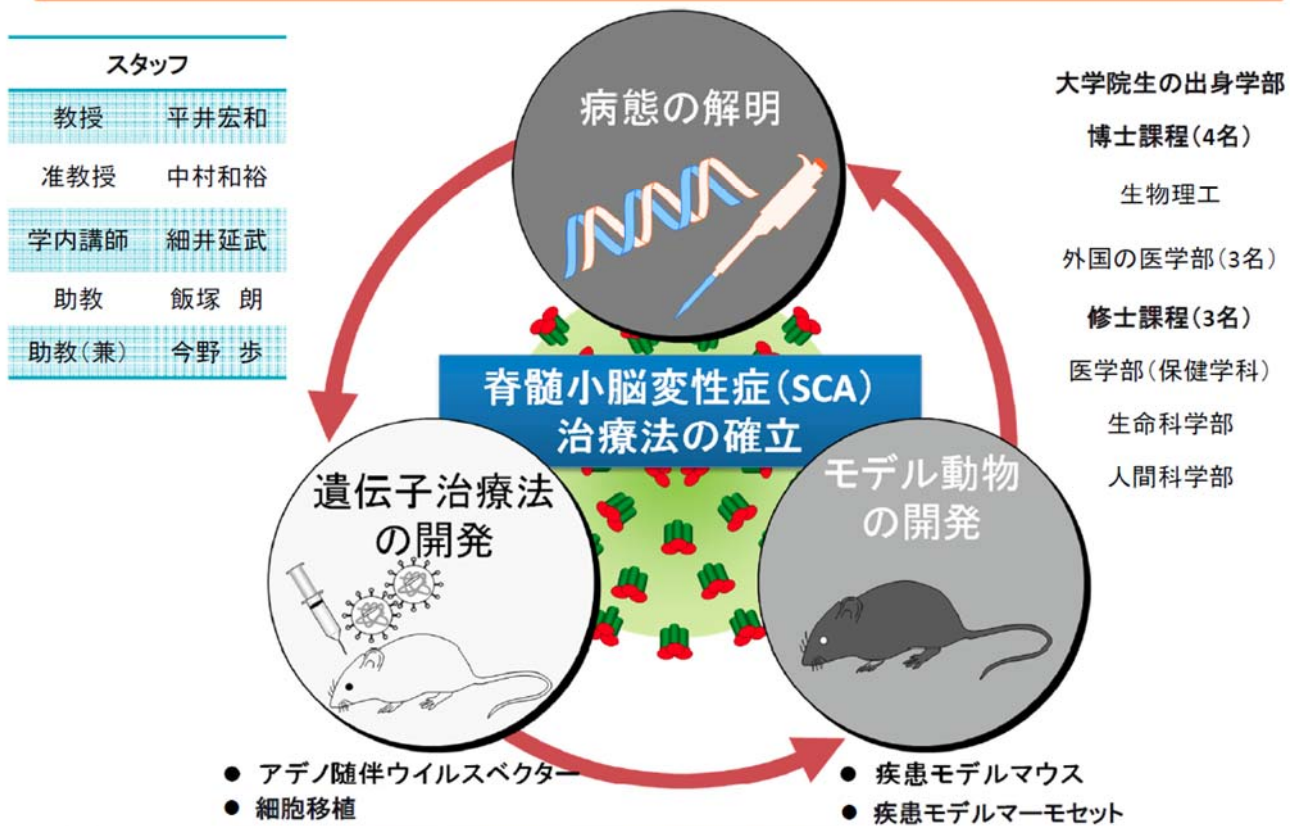


- 神経変性疾患、とくに難病、脊髄小脳変性症の病態解明と治療法開発
Keyword: 疾患モデルマウス/マーモセット、レンチウイルス/アデノ随伴ウイルスベクター、遺伝子治療、幹細胞治療、細胞移植
- 記憶や学習を制御するシナプス伝達とシナプス可塑性の分子機構の解明
Keyword: 遺伝子改変マウス、ウイルスベクター、パッチクランプ、カルシウムイメージング
- 研究手法は電気生理学に加えて、遺伝子改変動物作成、分子生物学、タンパク化学、免疫組織学、ウイルスベクター、行動実験などさまざまです。



医学部の研究の本質は患者を救うこと

今 なお、脊髄小脳変性症を含めた神経変性疾患に対する根本的な治療法は確立していません。私たちの研究室では脊髄小脳変性症を治療できる病にするために最先端の技術を駆使して一生懸命、研究開発を進めています。ぜひ私たちといっしょに世界をリードする研究を行い、難病で苦しむ患者さんを救うことに全力を尽くしてみませんか。

脳神経病態制御学講座
神経生理学分野 教授 *平井宏和*

